

S級公認審判員候補審査資料（書式2）個人票記入上の注意点

この書式第2号用紙は、申請者が作成してください。作成したものを日本陸連に提出します。記載例を添付しているにもかかわらず、「誤記入」や「勘違い」があります。送信前に再度、確認し提出をお願いします。

本状及び記載例を熟読されて間違いのないようご提出ください。

1. 記入上の注意

- (1) 必ず、原本は本人が作成してください。
- (2) 年月日は、正確に西暦で記入すること。
 - ・ 生年月日
 - ・ A級取得年月日
 - ・ 審判講習会受講年月日

2. 協会名 一般財団法人 北海道陸上競技協会

3. 所属 登録している地方陸協名

4. 主な審判歴の欄

- (1) 日本陸連カレンダー記載の競技会とする。（日本陸連ホームページに記載があります）
- (2) 記載は上の段から2022年度より新しい順に記載すること。（2017年度以後の競技会を記入）審判種別の欄には出来るだけ違う種別を記載すること。
- (3) 記入競技会は、年間2回程度とし、道路競技のみは避けること。
- (4) 審判手帳に記入、押印されていない競技会は、記入しないこと。
- (5) 大会回数のあるものは必ず入れること。（第〇〇回 北海道△△大会など）
- (6) 同じ審判種別であっても「 // 」は使用しない。（大会役員は含まれない）

5. 審判講習会の欄

- (1) 受講年月日は西暦で記入すること。2022年度より2017年度までの直近6か年間とする。
- (2) 審判講習会は、競技規則伝達講習会であり、実技講習会は該当しない。
- (3) 同一年度に何回受講しても、受講回数は「年1回」とする。
- (4) 日本陸連の会計年度（4月1日から3月31日）に合わせること。
注：例えば、2018年4月20日と2019年3月20日は同じ年度である。
- (5) 場所・講師名が同じでも「 // 」は使用しない。

6. 推薦理由の欄

所属する各地方陸協の会長・理事長または審判委員長は、推薦理由を200字程度にまとめて記入してください。未記入では申請できません。なお、家庭事情、仕事の都合、体調問題は認められません。

7. 推薦責任者 一般財団法人 北海道陸上競技協会 会長 丸 昇 となります。

8. 日付は、2022年11月25日となります。